



団体facebook

団体名

NPO法人障がい児・者の学びを保障する会

事業名

ダイバーシティ発信基地
「LDK（アイエルディーケー）」

1. 団体紹介

実施団体 NPO法人・障がい児・者の学びを保障する会 (ままのがっこ)

障がい児・者および家族や支援者を母体とする任意団体（全25名）

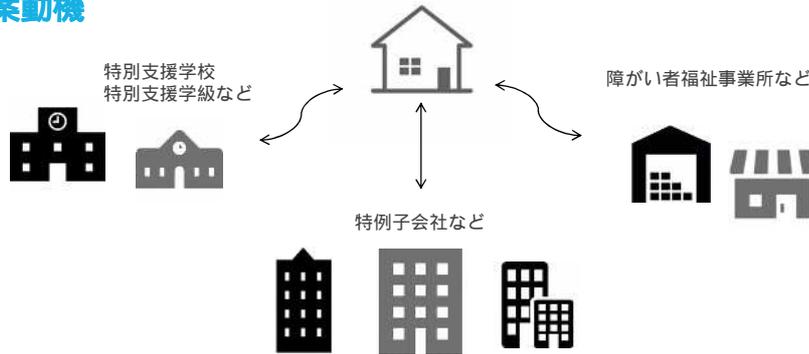
【団体主要メンバー】

責任者	大森 梓	（保護者/支援教育専門士）
ワークショップ担当責任者	永田 三枝子	（元小学校教員・特別支援学級）
ボランティアスタッフ	森 博俊	（都留文科大学名誉教授）
	栗林 満	（元特別支援学校教員）
	永野 佑子	（元中学校教員・特別支援学級）
	齋藤 恵里子	（保護者・元中学校教員）
	中川 重徳	（弁護士）
	久保園 有紀	（保育士/保護者）
	馬場 祐子	（保護者）
	石田 結城	（保護者）
	その他	団体内保護者有志

【従事職員】

横山 大志（土木部計画課）
渡部 佳樹（生涯学習センター）

2. 提案動機



障がい者への固定観念。一方的な親切になりがちな関係性。

一人一人違う個性をもっている。

自分らしさが尊重される人間関係ができれば・・・

家と学校・就労先の往復、単調になりがちな障がい者の生活。

健常者のように文化活動やスポーツ、余暇を楽しんだり、

もっと豊かにいきいきと人生を送れたら・・・

地域の中にある障がい者限定の学校や施設。

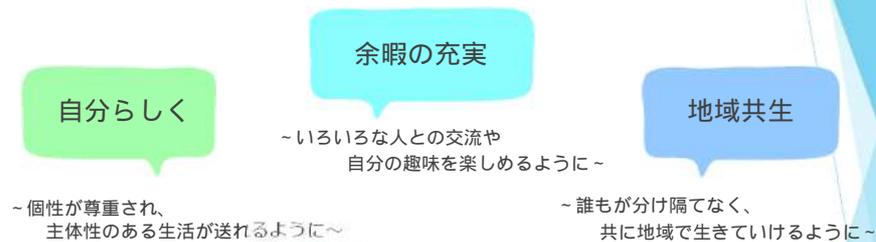
社会的な理解と共に、地域の人との交流できる場があったら・・・

3

P. 2

3. 目的 知的障がい者に学びの機会や場所を提供すること

ダイバーシティ発信基地 創出プロジェクト



アイ
I LOK

Inclusive Learning Diversity with Kitchen

練馬区内に、互いの存在と価値観を尊重し合い、
豊かさを広げるコミュニティ拠点をオープン！⁴

P. 3

4.平成29年度の成果（効果）・課題

事業についての再検討

先行事例の視察などを通して、団体の活動における課題を整理した結果、団体の活動や理念の**周知の必要性**と**事業の安定化**が挙げられました。

課題への対応 周知について

- ・つながるフェスタにてドラムサークルのワークショップ開催
団体の活動内容や理念について広く知ってもらうため、参加者が見込まれるつながるフェスタへドラムサークルワークショップを実施し、団体について広く周知を行いました。

課題への対応 活動の安定化について

- ・文部科学省実践研究事業「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」事業への応募
事業の安定化を図るため、文部科学省が実施している障がい者の学びの支援に関する研究事業を活用し、プログラム開発や実施体制の構築を模索することとしました。応募にあたっては区と協働し、内容や計画について検討を重ねました。

5

P. 4

5.平成30年度の実施事業

昨年度挙げた課題に対応する形で昨年度に引き続き事業を実施しました。

課題1【団体の周知】に関して

- ・ワークショップ「からみとつらなり」の実施

課題2【活動の安定化】に関して

- ・文部科学省研究事業「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」事業を受託し、以下の講座を行いました。
クローズ講座：14講座
オープン講座：11講座

地域おこしプロジェクトでは、オープン講座の中でも特に地域性の高い以下の4つの講座に関わり、各課の既存プログラムから様々な場づくりのノウハウを学びながら、2日間にわたる新たな講座を協働で開発しました。

選挙に行くってそういうことか！
だれでもいつでも「ちゃんとごはん」
災害から大切な命を守ろう！
【開発】ボランティアスタッフ体験

協力：練馬区 選挙管理委員会
協力：練馬区 栄養指導担当係
協力：練馬区 防災学習センター
協力：練馬区 協働推進課



6

P. 5

6. ワークショップ開催 (小竹町会館)

○団体の活動や理念について知ってもらうため、知的障がいをお持ちの方に限らず募集をして、多様な主体が参加する場となりました。



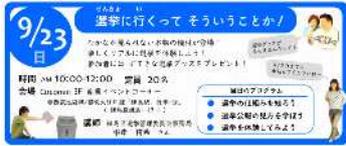
いろいろな表現方法があるんだね。



コミュニケーションって言葉だけではないんだ。

7. 練馬区との協働企画講座 選挙に行くってそういうことか！

(選挙の仕組みと投票の仕方を学びよう)



わいわい党、ムキムキ党に
ぼかぼか党。どの人に
投票にしようかな？



こんど選挙があったら、
ひとりで行ってみたいな。

はじめてだから
緊張するな・・・

8. 練馬区との協働企画講座 だれでもいつでも「ちゃんごはん」 みんなで考えよう「健康的な食生活」

(食の視点から健康について学ぼう)

10/6 **だれでもいつでも「ちゃんごはん」**

毎日の食生活のために「ちゃんごはん」を食べてみよう。
だれでも、いつでも、どこでも食べられるレシピをみんなで紹介！
健康をつくる、食生活のヒントについて考えよう！

時間 AM 10:00-12:00 定員 20名
会場 生涯学習センター（練馬区立中央公民館）
講師 練馬区健康推進課 栄養 斎藤 さん

～当日のプログラム～
●健康的な食生活って？
●電子レンジを使った献立に挑戦！

電子レンジ献立カード

献立名	材料	調理法	調理時間
鶏肉と野菜の炒め物	鶏肉、人参、ピーマン、玉ねぎ、醤油	電子レンジで加熱	10分
豆腐と野菜の煮物	豆腐、人参、ピーマン、玉ねぎ、醤油	電子レンジで加熱	10分
魚と野菜の炒め物	魚、人参、ピーマン、玉ねぎ、醤油	電子レンジで加熱	10分



バランスが
だいじ！

食事カードがおいしそうで、
やる気になった！！



電子レンジだけで、
料理ができるんだね！！

12/9 **みんなで考えよう！「健康的な食生活」**

自分の食生活を改善して、明日はより健康的な生活にしよう！

時間 AM 10:00-12:00 定員 20名
会場 生涯学習センター（練馬区立中央公民館）
講師 練馬区健康推進課 栄養 斎藤 さん

～当日のプログラム～
●健康な食生活とは？
●電子レンジを使った献立に挑戦！

9. 練馬区との協働企画講座 災害から大切な命を守ろう！

(災害に備えることの大切さを学ぼう)

12/8 **土** **災害から大切な命を守ろう！**

災害の時に役に立つ知識や準備を学ぶことで、大切な命を守ることができるようになります。

時間 AM 10:00-12:00 定員 20名
会場 防災学習センター（練馬区立中央公民館）

～当日のプログラム～
・防災のお話
・起震車で地震体験
・煙体験ハウスなど

はげしすぎて、
立ちあがれない・・・



けむりのちからが
すごい！！

とてもこわかった。
でも、いつでもそなえはたいせつ。

10. 練馬区との協働企画講座 ボランティアスタッフ体験 ～その1～

○今までの学びを活かしながら、障がい者が「つながるフェスタ2019」へのボランティア参加を目標とする講座を企画・開発しました。
○1回目では、参加者が主体的に取り組めるよう、様々な資料を使って丁寧にイベントやボランティア内容の説明をし、みんなで話し合いながら決めました。



このプログラムが
明日ひとりひとりに
くばられるんだね。

ボランティアって始めて。
でも、なんだかおもしろそう。



ぼくはこのしごとを
やってみたいな。



10. 練馬区との協働企画講座 ボランティアスタッフ体験 ～その2～

○今までの学びを活かしながら、障がい者が「つながるフェスタ2019」へのボランティア参加を目標とする講座を企画・開発しました。
○2回目では、実際にボランティアスタッフとして、みんなでイベントを盛り上げました。



ひとりひとりにふれあって、
とても楽しかった。



ペカーボールをやって良かったです。
子供たちとやっていい運動にもなりました。



はじめての
ボランティア体験。
楽しかったです。
また、参加したいです。



1 1.平成30年度の成果（効果）・課題

文部科学省研究事業

「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」委託事業の実施をとおして

- ・ 新たな学びの場の創出に向けたヒントを獲得することが出来ました。
- ・ ボランティアスタッフ体験講座において、障がいのあるの方がイベントスタッフという立場で主体的にそれぞれの役割をこなしながら、他のスタッフやイベント参加者とともに“つながるフェスタ2019”を盛り上げていく様子は、提案動機にある理念の実現を予感させるものでした。

障がい者への固定観念。一方的な親切になりがちな関係性。

一人一人違う個性をもっている。

自分らしさが尊重される人間関係ができれば・・・

家と学校・就労先の往復、単調になりがちな障がい者の生活。

健常者のように文化活動やスポーツ、余暇を楽しんだり、

もっと豊かにいきいきと人生を送れたら・・・

地域の中にある障がい者限定の学校や施設。

社会的な理解と共に、地域の人との交流できる場があったら・・・¹³

P. 1 2

1 2.平成31年度以降について

地域おこしプロジェクトについて

2年間の活動によって地域おこしプロジェクトとしての目標は達成されたと判断し、今後は団体の自主事業として以下を実施し、2年間の成果を活かしながら、さらなる活動の発展を目指していきます。

- ・ 文部科学省の研究事業の継続
- ・ 生活訓練事業所「MoreTimeねりま」開校、運営
- ・ ILDK事業

14

P. 1 3